

網

言葉なく
風に這う砂
風紋を見つめ

ハマヒルガオの種子が
枯れ落ちた花の後に実っていることを
改めて知る

風は強いにもかかわらず
波頭は穏やかに岸に寄せている

私は網———
何ものも掬うことのできぬ網

弓なりに長く続く砂浜は
遥か水平線に目をやっている

足元を這う白い砂粒は
時折、目映く明滅する

白い貝殻
背の低い松の列
向かい風に静止するコアジサシ
風の彼方にある空

私は告げられる
「この海の傍で死ぬ」と

私は網———
何ものも掬うことのできぬ網
ただ、風を空しく素通りさせるだけの網

(2007.6.13)